

純潔の旗風の下

尾道市立久保中学校
学校だより
平成30年1月9日（火）
第10号

強い心もち 打たれても出る杭になれ！
～あなたが久保中ドラマの主人公～

新年明けましておめでとうございます。
平成30年もよろしくお願ひいたします。

明るく元気に登校しました

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。生徒たちの多くが、新しい年の最初の授業日、元気に明るく登校することができました。



3学期は新年度の準備を行うゼロ学期です

本校では、毎年、「3学期はゼロ学期である」と生徒に伝えていきます。4月からの1学期に対してゼロ学期。1年生は新しく後輩を迎えて先輩と呼ばれる立場に。2年生は名実ともに本校全体のリーダーとなるとともに受験生に。3年生は、いよいよ高校生、未知の生活が始まります。4月からの新しい日々をよりよきものとするための、準備期間としてのゼロ学期です。後輩から慕われ尊敬される先輩になるために。リーダーとして活躍し、身も心も成長していくために。そして志望高校に絶対合格するために。生徒はもちろん、本校職員も、常に念頭にあるのは桜が咲く頃の、久保中学校生徒の笑顔です。

久保中生のよいところ

2学期終業式における校長の講話の一部です。

3ついいところを見つけました。

- ①どんなに急いでいても、グラウンドの歩道を通って登校してくる（工事中、遠回りになります）。
- ②校門で挨拶運動をしてくださる地域の方々も、多くの生徒が温かい挨拶をしてくれる、と喜んでいらっしゃる。
- ③寒い体育館に長い時間座っていても（終業式）、きちんと顔を上げて人の話を聴くことができる。そして、今年（29年）は、みなさんの可能性をアピールする年となりました。たくさんの賞をいただき、今までのみなさんの努力が報いられる年となりました。きっと、新年は久保中の年。飛躍の年になりますよ！

たくさんの賞をいただきました

裏面にある通り、この近年にないほどの沢山の生徒が賞をいただきました。終業式の後に全校に紹介しました。とりわけ、多くの生徒が係わったボランティア体験活動。評価され、第21回プルデンシャル・ボランティア・スピリット賞「コミュニティー賞」を受賞、ひまわりの種を福島に送る「福島ひまわり里親プロジェクト」活動では、感謝状をいただきました。また、今回より、勉強の面で頑張った生徒も表彰を行うこととしました（久保検定、各種検定）が、2年生が、昨年度（1年生の時）受検した結果と比較し、伸び率が尾道市内第1位になったことを、日本英語検定協会より表彰していただきました（AWRAD OF EXCELLENCE）。